

第5学年1組 図画工作科学習指導案

平成27年11月7日(土)第5校時

児童数 11名

指導者 田口 明宏

場所 図工室

- 1 題材名 糸のこのドライブ
A表現(2)ア、イ、ウ
B鑑賞(1)ア、イ

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、アンケートの結果、「図工が好き、どちらかといえば好き」と91%が回答している。しかし、『春を感じて』などの平面の題材では、絵の具や道具を上手に使いえないことから苦手意識をもち、なかなか活動に取り組めないでいる児童もいる。また、『切ったねん土の形から』のプレ題材では、型抜きなど既成のものからできた形からはイメージが湧きやすく、いろいろな工夫をして表現していたが、テグスなどで切った不定形な形からは、なかなか発想が広がらずに手を止めてしまう児童も見られた。しかし、他の児童の作品等を鑑賞する時間を展開の中に設定することで、発想を膨らませて自分の思いを表現することができた。

(2) 題材について

本題材は、電動糸のこぎりを使って、板の曲線切りによって生まれた形から発想し、組み合わせて新たな形をつくり出す題材である。ここでは、用具の経験を通して技能を高めながら、自由に曲線切りを楽しむようにする。また、切った板の形や色の構成、組合せなどを試しながら、自分が表したいものを追求していける題材である。

(3) 本題材を指導するに当たって

指導に当たっては、電動糸のこぎりの扱いに慣れ親しみ、板を自由な曲線に切る楽しさを味わわせると同時に安全面に十分に配慮する。児童は、本題材で初めて電動糸のこぎりを使用するので、電動糸のこぎりの安全で正しい使い方を身に付けさせる。展開の初めには、教員が示範することで安全面の指導を徹底する。教員が示範する際には、安全指導をすることはもちろん、児童が電動糸のこぎりに対して恐怖心をもたないようにする。電動糸のこぎりに対する恐怖心を取り除き、電動糸のこぎりの使い方を身に付けさせるために、全体で指導した後にプレ題材として、段ボールを活用して電動糸のこぎりの使い方を練習させていく。板よりも軽く、押さえたり向きを変えたりといった作業がしやすいため、あえて段ボールを活用する。

鑑賞に関しては、組合せや表現技法による表し方の違いやよさについて話し合いながら、児童の感性を働かせ、伝え合うことの楽しさを味わわせる。

3 研究主題との関わり

研究主題 「感性を働かせ、自ら学び、伝え合う子の育成」

副題 図画工作科における児童の思考力・判断力・表現力を育む指導方法の工夫

仮説1 「導入」の工夫や「展開」において豊富な材料・技法を体験させることにより児童は、感性を働かせ、自ら学ぶことができるであろう。

手立て ①教科書を効果的に活用して、課題をわかりやすくおさえられるように工夫し、興味・関心を高め、児童が活動の見通しをもてるようにする。

②導入は、題材の最初の時間は15分以内、その他は5分以内とし、製作の時間を十分に確保する。

③「展開」において、プレ題材を実施し、電動糸のこぎりの安全な使い方や組み立て方の工夫などを体験させる。

仮説2 「まとめ」及び作品提示の工夫や「展開」において個に応じた支援を行うことにより、児童は感性を働かせ伝え合う力を高めることができるであろう。

手立て ①活動の過程で鑑賞を行うことで、試して見つけた工夫を学び合う機会を増やす。

②意図的な言葉かけをすることで、児童の思いを生かす支援をする。

③協力して時間内に片付けをさせる。

④作品提示の工夫をする。

※「4つの実践と3減運動」との関わり

・授業中のあいさつ、返事の励行

・鑑賞での友達との認め合い

4 目標及び評価規準

(1) 目標

曲線切りした板の形や色の組み合わせ方を試したり、見付けたりして、つくりたいものを思いつくことを通して、試したり、見付けたり、考えたりして、思いつく力を養う。

(2) 本題材における[共通事項]

電動糸のこぎりで切った形や色、材料の組合せなどを試したりしながら、それらがつくり出す形の造形的な特徴をとらえ、自分の表したいイメージをもつ。

(3) 本題材における評価規準[◆「努力を要する」と判断される状況(C)の児童への支援]

※アンダーラインは[共通事項]に関連した内容を示す

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
板の曲線切りを楽しむとともに、切った形を生かす活動に取り組んでいる。	<u>曲線切りによって生まれた形からつくりたいものを考え、自分らしい発想を広げている。</u>	形や色、動きや奥行き、丈夫な接着など、表したい意図に関連づけながら技能を働かせ、工夫してつくっている。	友だちと自分の作品の表現の意図や特徴について話し合い、よさやおもしろさをお互いに認め合っている。

◆気に入った作品と一緒に 見つけたり、教師が実際 にやってみせたりするこ とで、自分もやってみた いという意欲を引き出 す。	◆教科書の作品や 友だちの作品を 提示したりし、自 分なりの発想や 構想を広げられ るよう支援を行 う。	◆いろいろな切り方や 組み合わせ方をして いる友だちの作品を 紹介したり教師が実 際にやってみせたり することで、工夫がで きるように支援する。	◆表現技法や組合せの 違う作品を見て、その 効果の違いを比較し たり、それぞれの良さ を感じ取れるように したりする。
---	--	--	--

5 指導計画・評価計画(6時間扱い) ※**教**マークは教科書を活用する場面

時間	学習活動	関	発	創	鑑	評価方法
①	<p>提案1：電動糸のこぎりを正しく使い、曲線切りを楽しもう。</p> <p>○刃のつけ方を知る。</p> <p>○電動糸のこぎりの安全で正しい使い方を知る。</p> <p>○プレ題材を体験する。教</p>	○				関 行動観察 発言 表情
2 3	<p>提案2：電動糸のこぎりの道を楽しみながらドライブしよう。</p> <p>○電動糸のこぎりを正しく使い、自由な曲線で一枚の板をいくつかに分ける。</p>		○	○		発 行動観察 発言 表情 創 行動観察 発言 表情
4 5	<p>提案3：ずらして、立たせて、考えよう。</p> <p>○参考資料を見る。教</p> <p>○いろいろな組み合わせを試して思いついた形をつくる。</p>	○	○			発 行動観察 発言 表情
6	<p>提案4：作品を紹介し合って、よさを味わおう。</p> <p>○友だちの作品のよさに気づき、自分の作品の形や色、イメージなどを発表する。</p>				○	鑑 行動観察 発言 表情 いいねカード (鑑賞カード)

6 本時の学習(本時 1/6 時)

(1) 目標

- ・電動糸のこぎりの安全で正しい使い方を知り、板の曲線切りを楽しむとともに、切った形を生かす活動に意欲的に取り組む。**【関】**

(2) 準備

- 教師 教科書、電動糸のこぎり、段ボール板、ほうき、ちりとり、両面テープ、卓上ボール盤(穴あけドリル)


○児童 教科書、筆記用具、ボンド

(3) 展開

時間	学習活動 ※ 教 マークは教科書を 活用する場面	学習内容	○指導上の留意点(配慮・手立て) ◎評価[共]共通事項に係る内容 ◇十分満足できる状況 ◆努力を要する児童への手立て
導入 15分	<p>1 題材を知る。 【仮説1 手立て②】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>提案1 電動糸のこぎりを正しく使い、曲線切りを楽しもう。</p> </div> <p>2 見通しをもつ。</p> <p>3 刃のつけ方、電動糸のこぎりの正しい使い方について知る。 【仮説1 手立て①】 教</p>	<p>○電動糸のこぎりの使い方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・刃の向き ・取りつける順番 ・板の押さえ方 ・板を動かす速さ ・方向転換 ・穴の開け方 </div>	<p>○学習の準備を整え、元気よく挨拶をする。</p> <p>○題材名を黒板に掲示する。 ○これまでに体験して切ったりくっつけたりする活動などについて話し合う。 ○本題材の流れを黒板に掲示し、学習の見通しをもたせる。 ○児童を一か所に集めて電動糸のこぎりの使い方を示し、注意事項を確認する。 ○正しく使えば、危険ではなく、便利な道具であることを伝える。</p>

<p>展開 20分</p>	<p>4 プレ題材を体験する。 ・電動糸のこぎりを正しく使い、段ボールを自由な曲線で切り分ける。 ・いろいろな組合せを試して思いついた形をつくる。 【仮説1 手立て③】 【仮説2 手立て②】</p>	<p>○切った板から発想した組合せ方</p>	<p>○意図的な言葉かけをすることで、児童の思いを生かす支援をする。 ◎電動糸のこぎりを正しく使い、進んで曲線切りや板の組合せ方に取り組んでいる。【関】 ◇電動糸のこぎりを正しく使い、意欲的に活動している。 ◆進んで活動できない児童には、他の児童の表し方を紹介したり教師が実際にやってみせたりすることで、意欲的に活動できるようにする。</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>5 本時のまとめと次時の活動を知る。 【仮説2 手立て①】 6 片付けをする。 【仮説2 手立て③】</p>		<p>○切り方や組合せの工夫をしている児童を紹介したり、称賛したりすることで組合せ方法などを学級全体に広める。 ○作品を鑑賞し合い、曲線や組合せ方の違いなど互いの作品のよさを感じ取って、次時の参考にする。 ○次時は、実際に板を切り分けていくことを伝える。 ○協力して時間内に片付けができるようにする。</p>

7 板書計画



11/7
糸のこのドライブ

電動糸のこぎりを正しく使
い、曲線切りを楽しもう。

糸のこぎりの使い方

刃の向き
取りつける順番
板の押さえ方
板を動かす速さ
方向転換

11/7	①	①電動糸のこぎりを正しく使 い、曲線切りを楽しもう。
11/13	2 3	②電動糸のこぎりの「道」を楽し みながらドライブしよう。
11/20	4 5	③ずらして、立たせて、考えよ う。
11/25	6	④作品を紹介し合って、よさを 味わおう。

組み立て方

板を土台にした
作品

パーツを組み合
わせて立たせた
作品

8 場の設定

